

H30.12 議会基本条例制定後、新型コロナウイルス感染症まん延が落ち着いたこと、前回の議会基本条例の達成状況評価(R05.03 とりまとめ)における課題となっていたことから、市議会として安否確認訓練を行ないました。

(参考) 議会基本条例の達成状況に関する評価、点検(令和4年度)における市議会の評価コメント

議会基本条例	令和4年度評価点検における評価コメント
(災害時における議会の活動) 第13条 議会は、大規模災害等が発生したときは、議長を中心に羽島市議会災害対策本部を設置し、市内の被害状況等の情報共有を図り、かつ市長等と連携するとともに適切な対応について協議し、市民の安全確保及び被害の拡大防止に努めるものとします。	議会としてまとめた訓練を実施した経験がないことが、結果につながったものと見受けられ、議会としての取り組み強化が課題です。 コロナ禍の経験を経て、デジタル化の推進の要素を含め、議会の災害対応力強化に努めていきたいと考えます。
(災害時における議員の活動) 第14条 議員は、大規模災害等が発生したときは、議長へ自らの安否及び所在を明らかにするため、連絡するものとします。 2 議員は、大規模災害等が発生したときは、地域における被災者の安全の確保、避難所への誘導、避難所に対する支援を行う等、地域の一員として共助の取組が円滑に行われるよう努めるものとします。	地域での防災訓練等に参加している議員もいるが、各議員の認識が結果につながったものと見受けられ、前条(災害時における議会の活動)の趣旨とあわせ、議会としての取り組み強化が課題です。 コロナ禍の経験を経て、デジタル化の推進の要素を含め、議会の災害対応力強化につながるよう、議員力の向上に努めていきたいと考えます。

1. 市議会安否確認訓練における自己評価について(5月28日実施のことについてお答えください)

項目	自己評価		
①基本条例および基本条例達成状況の点検、評価における課題について認識することができましたか。	5段階評価 5(良い) 7 4 8 3 2 2 1 1(悪い) 0 得点 79 達成率 87.8		

項目	自己評価	現状での課題(提出されたシートの記載を転記)	考えうる方策や取り組み(提出されたシートの記載を転記)
②前回と比べ、訓練への対応はスムーズにできましたか。	3段階評価 5(良い) 3 3 12 1(悪い) 1 未回答 2 得点 52 達成率 57.8	・前回まで、市内(県内)にいなかったため わからなかったが 今回は報せをうけた。 ・前回よりも連絡に時間がかかった。	・どこにいても伝わるようなシステムが望ましい ・議員が地域の一員として行動することが求められているので、議員だけの訓練には限界がある。

項目	自己評価	現状での課題（提出されたシートの記載を転記）	考えうる方策や取り組み（提出されたシートの記載を転記）
③基本条例第 13 条及び第 14 条の趣旨を認識することができましたか。	5段階評価	・前回との比較ができないので 次回から より関心を持って臨みたい。 ・次の段階へ進みましょう	・羽島市議会災害対策本部の設置・運営
	5(良い)		
	4		
	3		
	2		
	1(悪い)		
	得点 74 達成率 82. 2		

項目	自己評価	現状での課題（提出されたシートの記載を転記）	考えうる方策や取り組み（提出されたシートの記載を転記）
④訓練を通じて災害発生時等にとるべき行動について考え、認識することができましたか。	5段階評価	・災害の種類にもよるが、通信環境が維持されていない場合も想定したい ・考え認識しただけの段階で終わっている	・十分達成していると思われるのでこの評価観点を削除
	5(良い)		
	4		
	3		
	2		
	1(悪い)		
	得点 76 達成率 84. 4		

2. 今回、市議会として6回目の安否確認訓練でしたが、実際に行動を伴う訓練を行ったことを通じて、課題や今後の展開などについて考えがあれば(単なる批評、要望以外で)ご記入ください。

・最近 多発する 豪雨や危険な暑さなどの災害時にも 情報共有できることも大切ではないか。

・今後の展開として、「対応可能」とアンケート回答した人に対し、最寄りの施設(市役所や市民会館など公の場)の写真を撮ってもらい現状報告という形での参加型の訓練も良いかと思います。

・実際の行動がネット上の回答だけなので、本当の意味での実際に行動を伴う訓練の段階へ進むことが必要な段階ではないだろうか。

3. その他、市議会の災害対応力をあげる取り組み等について、お気づきのことがあれば(単なる批評、要望以外で)ご記入ください。

・羽島市議会災害対策本部の設置・運営に取り組んでみないと、実際の市議会の災害対応力は判明しないと思われる。

・地域といかに、日頃よりコミュニケーションをとり連携強化に努めることが、議員としての災害対応力向上につながると考えます。